

第2回 4月24日の講義内容

- § 1. 社会調査とその方法
 - 社会調査とは
 - 学問・科学としての社会調査
 - 社会調査の軸
 - 量的調査
 - 質的調査
 - 記述的調査と説明的調査

4/24/02 copyright (c) Y. Takeuchi 1

§ 1. 社会調査とその方法

- 社会調査とは
 関心のある社会現象を観察して、第一次資料としてのデータを収集する。そして、それに基づき、記述及び分析を行うこと。

4/24/02 copyright (c) Y. Takeuchi 2

学問・科学としての社会調査

- 要請
 - データの質が高い
 - 結果の妥当性、説得性、信頼性

⇕

方法が客観的な基準に立脚しているか
追調査可能性

4/24/02 copyright (c) Y. Takeuchi 3

質的調査

限定的標本に対する非定形的、複合的内容をもつ調査。
 如何にして被対象者の主観的な情報を引き出し、その社会的意味を調査者が整理し、普遍化するかがポイント。

4/24/02 copyright (c) Y. Takeuchi 7

質的調査の種類

- 事例調査法(ケース・スタディ)
- インタビュー調査
- 参与観察
- ドキュメント調査(ライフ・ヒストリー調査)

4/24/02 copyright (c) Y. Takeuchi 8

質的調査の利点と欠点

- 利点
 - 総合的に理解可能
 - 深層まで追跡可能
 - 動態を把握可能
- 欠点
 - 一般化が困難
 - 検証不能

4/24/02 copyright (c) Y. Takeuchi 9

記述的調査と説明的調査

■ 記述的調査

- 社会現象の記述が目的
- 記述から抽象概念を推論・作成することもある

■ 説明的調査

- 複数の社会現象の記述から、複数の社会現象の関係の因果関係を探ることが目的
- 抽象概念間の因果関係を探ることが目的でもある
岩永P26参照

4/24/02

copyright (c) Y. Takeuchi

10
